

保護者の皆様

長森北小学校 校長 浅野竜也

令和6年度 学校の教育活動に関するアンケートの結果のお知らせ

平素は本校の教育活動に、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。年度末を迎え、多くの学びが終末に近づいてきました。

この度は、学校の教育活動に関する中間アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。回答数は、55%の回収率でした。(別紙 資料編参照)

中間評価をいただきました11月の反省を生かして、3カ月間教育活動に取り組んでまいりました。今回の評価結果を中間評価と比較しながら以下のように報告させていただきます。(赤文字が年度末評価です。)

<垂直評価：それぞれの評価対象者の中で、上位・下位の評価であった項目>

★保護者：37項目

○総合評価で、上位5項目 (9 異学年集団…のみ新規)

19	毎朝朝食をとっている	3.74	29	誰かをいじめたり迷惑かけたりしないよう声をかけている。	3.57
27	ヘルメット着用を呼び掛けている。	3.64	33	先生や友達は頑張った子に、声をかけてくれる。	3.55
9	異学年集団の遊びを楽しみにしている	3.55			

○総合評価で下位5項目 (6 正しい言葉遣い…、16 分かるまで、できるまで…、の2項目は新規)

17	家庭で自主学習をしている。	2.70	15	お子さんは読書が好き	2.77
6	お子さんは正しい言葉遣いをしている	2.90	16	お子さんは分かるまで、できるまでやろうとしている	2.90
13	授業で自分の考えを仲間に伝えている。	2.90			

★児童：34項目

○Aを記入した児童約7割以上の項目 (26 将来の夢…、29 困ったとき…は新規)

3	掃除や係の仕事に責任を持っている。		23	地震などの自然災害から自分の身を守ろうとしている。	
7	友達関係に満足している		25	誰かの役に立ちたいと考えている。	
8	いじめを見逃さず仲間とよりよい生活を送ろうとしている		26	お子さんは将来の夢や目標をもっている。	
9	異学年集団の遊びが楽しい		29	困ったときは先生や友達があたたかい声をかけてくれる	
19	毎朝朝食をとっている。		32	いじめはどんな理由があってもよくない。	
22	交通安全を守り、自分の体を守っている。				

○C・Dを選んだ児童が3割以上の項目 (下記項目は改善されました。ご協力ありがとうございました。)

17	家庭で自主学習をしている。
----	---------------

<横断評価を含めた考察 横断評価：児童・保護者・職員の評価のずれから捉えた考察と対策>

※すべての項目で、A・B・C・Dの4段階評価をしていますので、いかのAは、一番上位の評価点の意味です。

- 「正しい言葉づかい」児童は約5割がAを記載するが、保護者・職員はBが7割越え
→大人が気に掛ける言葉(馬鹿、うざいなど)を児童は軽い気持ちで使っている。指導し気付かせていくことが大切。
→中間評価より、児童、保護者・職員の差が少なくなった。継続的に注意していただいている。
- 「友人関係に満足している」「いじめをせず仲間とよりよい生活をしようとしている」児童の約7割がA、保護者・職員はAは5.5割以下
→子どもは子どもの世界でトラブルがありながらも未来志向で肯定的に生活をしているのではないか。大人もそんな児童の頑張りを応援できるよう、自力でトラブルを乗り越える力を付けていきたい。
→中間評価と比べて数値の変化はわずか。一般的に年度末に近づくにつれ、よりよい学級づくりを目指すようになり、思いの差からトラブルも多くなることから、今後も丁寧な聞き取りや対応を通して対処する力を高めていく。
- 「お子さんは進んで学習をしている」「粘り強く学習している」児童はAが約5割、保護者・職員はAは約2.5割以下。「自主学習をしている」も結果は同様で、保護者・職員は半数の傾向だが、児童のAは5割に届かず4割程度
- 将来必要とされる「主体的で対話的な深い学び」の2つの要素である、「自分の考えを伝えている」と「仲間の考え

を聞いて自分の考えを深めている」は、児童・保護者・職員とも、「考えを発表する」のAの値が約3から6ポイント低い。

→児童は授業をしっかりと受けているが、保護者・職員の方が学習を重要視し、学力の定着を意識している。

今後も学ぶ楽しさを感じさせながら、自分で学習内容を考え、自分から学んでいける力を付けていきたい。

→中間評価と比べて、「仲間の考えを聞いて自分の考えを深めている」のAは児童・職員とも約5ポイント上昇した。また、「自分の考えを伝えている」のAは職員は25ポイント上昇している。年度末に近づき、総合的な学習などで発表の場が増え、お互いに聞き合う場面も多くなっていることが考えられる。発表して得られる自信や達成感をさらに味わってきたい。

○「本が好き」は、児童・職員はAが6割程度、保護者は3割程度

→学校で本を読む機会があり、その時には読書にのめり込む姿を見せているが、家庭では他の楽しみも多く読書が少ない可能性がある。学校でも本の貸し出しや読み聞かせの機会を増やしていく。

→中間評価と比べ、数値的には変化がないが、図書委員会の取組で、何度か児童が児童に読み聞かせをしたり、担任教師以外が読み聞かせをしたりした。どの会も参加者がとても多く、来年度も継続していきたい。

○「将来の夢や希望をもっている」「誰かの役に立つことがしたい」は児童のAが6割強に対し、保護者・職員はその半数程度

→大人が気付かないところで、児童が夢や希望をもっていることがうれしい。多くの機会や体験をさせ、褒めていることがつながっていると思われる。今後も勉強に限らず、様々な機会や体験を多く取り入れていく。

→中間評価と比べ、児童のAは7割を超えた。家庭や学校での多くの環境から夢をもっていることがうれしい。学校では、昨年度よりさらに多くの外部講師から学ぶ機会を位置付けた。来年度も座学以外の学びを多くし、様々なジャンルの体験をさせていきたい。

<その他、長森北小学校の自慢>

今年度は、皆様からのご意見を「長森北小学校の自慢」という形でいただきました。職員一同、心強いご意見に励まされ、一層のモチベーションで職務に取り組んでこられました。また、同時に、改めて一人ひとりの子どもに寄り添った声掛けが大切なことを実感させていただきました。来年度も、保護者の皆様のご理解をいただきながら精一杯の指導を心がけていきたいと思っております。ありがとうございました。

○学校の良いところ

*原文まま

- ・児童が少ない事もあり、とてもアットホームな雰囲気、一人一人に手厚い対応して頂いていると思っております。
- ・保護者が困った時にはすぐに相談に乗っていただけます
- ・優しい子が多い。困っている仲間に対して自然に応援したり、助けてあげられる。声をかけてあげられる。
- ・私が知っている限りでは、他の小学校の子に比べて、北小の子供たちはみんな優しい、そして素直。目を見て話をできることが多い。
- ・行事などで他学年の方の交流が多く、顔見知りの子が多かったり、いろんな先生が子供のことを知ってくれている
- ・穏やかな子が多く、みんなやさしい。
- ・安心して子供を任せられる事
- ・一人一人の役割がありみんな責任を持って学校をよくしようと働きかけているところ
- ・異学年交流や男女問わず仲良く一緒に遊ぶところです。
- ・目が行き届く
- ・校長先生の優しさ
- ・児童が落ち着いており、ほがらかに生活できていること。
- ・少人数だからこそ学校全体がアットホームで仲良く遊べる
- ・比較的人数が少ないため、目が行き届いている
- ・どの先生も学年の枠を超えて、児童を隅々までよく見ていてくれていると思っておりますし、子どもにはもちろん、保護者に対しても、いつもあたたかく、柔軟な対応や指導をされていると思っております。
- ・運動会などの行事で高学年がリーダーとしての役割りをしてくれていると感じられる。
- ・いじめが少ないこと
- ・子どもたちが、自分から進んであいさつが出来ること。
- ・校長先生自ら朝、通学路の見回りをされていました。ありがとうございます。
- ・おだやかですなお
- ・先生方が連携して、子どものことを思い一貫した指導をされている

- ・子ども達が素直で優しい
- ・よく挨拶してくれる”
- ・学年にかかわらず仲間関係が築けるように配慮されている。高学年が低学年に優しくできる。
- ・あいさつが気持ちよくしてくれます
- ・給食がおいしいこと
- ・学校行事の記事が新聞によく掲載されていること”
- ・明るく賢くたくましく。をかかげて、広い分野で活動していること。
- ・少人数のところ
- ・規模がさほど大きくなく、担任以外の先生も子供に目をかけてくださるところ
- ・放課後、学校や公園で学年関係なく遊ぶ姿を見るととても微笑ましく、当たり前のように貴重な事だとも思います。
- ・また、毎年ですが、良い先生に当たったなと思える事もありがたいです。”
- ・元気が良い
- ・学年に関係なく遊べるところ
- ・優しい子や信頼できる先生が多いと思います。
- ・全体の雰囲気として優しく明るい校風で、小学生の時期を過ごす学校としてとてもありがたいと感謝しています。
- ・子どもたちがのびのびと朗らかに過ごせるような学校のカラーがあると思います。
- ・トラブルが少なく過ごせていること。
- ・地域の方などが関わる行事があること”
- ・明るく挨拶ができる
- ・気持ちの良いあいさつができる
- ・先生・子ども達どちらも、よく声かけをしていると思います。
- ・色々な先生方が見守ってくれるところ
- ・地域のサポートが手厚いところや少人数の仲間切磋琢磨できるところ
- ・クラスの人数が多くはないので、先生方の目もわりと行き届きやすくアットホーム感がある感じがします。
- ・児童に対し担任の先生だけでなくいろいろな先生で関わりを持ちサポートしてくださっている。
- ・臨機応変に対応してくださっている。”